

宮池 (みやいけ)

<p>位置図</p>  <p>宮池</p>	<p>諸元</p> <table><tr><td>貯水量</td><td>151 千m^3</td></tr><tr><td>満水面積</td><td>7.5 ha</td></tr><tr><td>受益面積</td><td>34 ha</td></tr><tr><td>堤高</td><td>4.0 m</td></tr><tr><td>堤長</td><td>1,096 m</td></tr></table>	貯水量	151 千 m^3	満水面積	7.5 ha	受益面積	34 ha	堤高	4.0 m	堤長	1,096 m
貯水量	151 千 m^3										
満水面積	7.5 ha										
受益面積	34 ha										
堤高	4.0 m										
堤長	1,096 m										

宮池(川古池)は丸亀市土器町西の南端部に位置し、旧香古村の産土神である十二社宮(ご神体は12面の鏡)に隣接する、ほぼ正方形の皿池と呼ばれるタイプの池です。

宮池の築造時期は定かではありませんが、貞享三年(1686年)所定の「翁嬸夜話」の鵜足郡土器に聖池、中原池、宮池、新池、道池、椎池、雁股池の7ヶ所の池が記されていて、古くから地域の人々が貴重な財産として大切に守り続けてきたことが偲ばれます。

近年では昭和7年(1932年)に「救済農村土木工事事業」の一環として改修補強工事が行われました。しかし、その後の長年にわたる堤防浸食や陥没により漏水が増えたため、平成元年から平成7年(1989年~1995年)にわたり団体営ため池整備事業として改修工事を経て今日に至っています。

また、平成18年8月に公開された映画UDON(うどん)のロケ地としても有名な宮池は、飯野山(讃岐富士)の山頂に太陽が昇るダイヤモンド讃岐富士が見られる絶景のスポットです。更に、4月中旬と8月下旬の風がなく晴れた日に水面に映るダブルダイヤモンドは、まさに自然の作り出す芸術作品となります。

貴重な一瞬に、みなさんも立ち会ってみませんか。



ダブルダイヤモンド讃岐富士と宮池



映画「UDON」の撮影セット(当時)